

「第44回九都県市合同防災訓練」  
(相模原市及び(株)エフエムさがみとの協同)

- ・日時: 令和5年9月1日(金)9:00~12:00
- ・場所: 相模総合補給廠一部返還地等
- ・周波数等: 77.1MHz



(訓練放送ブース全景)



(防災局用放送設備の調整)



(アンテナ設置指導)

出展	内容
郵務省 関東総合通電局	臨時災害放送局用設備や災害対策用移動通信機器など、「I-C-T(輻射通信技術)」を活用した防災・減災に役立つ通信機器の展示及びデモンストレーションを行います。
㈱エフエムさがみ	災害時を想定した特設放送ブースから場内ラジオ放送のデモンストレーションを行います。また、過去の災害関連対応の記録と展示を行います。
3 相模原市(危機管理課)	関東大震災に関するパネルのほか、防災に関する啓発のための展示を行います。
4 気象庁 横浜地方気象台	関東大震災に関する啓発に合わせた写真のパネル、大雨の際に発表される情報「キキクル」の説明パネル等を展示します。



# 「第44回九都県市合同防災訓練」における放送訓練の感想と課題

- 相模原市には当局の電波が届かない地域があり(中山間地)、実災害は、そのようなところに出てしまいました。  
そのような地域に臨時災害局を開局し、災害対応ができることがよくわかり、今後活用すべきと感じました。
- 放送訓練の申し込みから終了まで全体の流れとして、イメージを把握することが難しかった。
- 機材運搬に関して、当社車両で運べるか、ボリュームに不安があった。
- 災害時に当該行政区が開局から放送を行うまでの間、被災隣接地域を含めたコミュニティー局が全面的に協力することで、早めに放送実施ができると感じています。

